

10月31日のウクライナ情報

安齋育郎

①ウクライナ和平巡り 60カ国余りが協議、ゼレンスキー氏が新たな世界モデル構築要望(2023年10月30日)

【バレッタ(マルタ) 28日 ロイター】 - ウクライナが提案する和平案「平和の公式」を協議する会合が28日にマルタで開催され、ゼレンスキー大統領は参加した60カ国余りの代表らに、世界共通となる平和実現の新たなモデルの構築を要望した。

ロシアは協議に加わっておらず、デンマークとサウジアラビアに次ぐ3回目の平和の公式を巡る会合を開いたマルタを批判している。

ゼレンスキー氏は、人類の歴史が平和だけになる日を心待ちにしていると表明し、国際法と国連憲章がこの悲願を記していると述べた。

その上で、果たして国連憲章が有効に機能しているのかと問いかけ、ウクライナや中東、アフリカでは戦争で死んだ息子や娘を母親が泣きながら埋葬し、戦争で孤児になった子どもたちは絶望の淵に追いやられているというのがその答えだと指摘。「われわれは別の答えを用意できるし、しなければならない。世界は血を流し過ぎている」と訴えた。

ゼレンスキー氏が昨年11月に発表した平和の公式は、ウクライナの領土一体性回復や、ロシア軍の即時全面撤退、食料とエネルギー供給の確保など10項目が挙げられている。

マルタとウクライナは、参加各国が公正で持続的な平和を追求し、核の安全や人道問題、エネルギーと食料の安全保障などへの取り組みの重要性を改めて想起すべきなどとした共同議長声明を発表した。

ウクライナとしては、今回の会合を踏まえて年内に首脳級会合での合意にこぎ着けたい考えだ。



https://news.yahoo.co.jp/articles/6d274e149ee2733ae39a990bfa5402eae_b31d621/images/000

②EUのウクライナ戦略「失敗」、ハンガリー首相がプランB求める(2023年10月27日)

【ブダペスト 27日 ロイター】 - ハンガリーのオルバン首相は27日、国営ラジオに対し、ウクライナ戦争に関する欧州連合(EU)の戦略は「失敗」しており、ウクライナが前線で勝利することはないとして、プランBを策定すべきだと述べた。

EU首脳会議の合間にブリュッセルで、特にウクライナ支援を巡って「大きな闘い」があると明かし、支援のためにハンガリーが納税者のお金を供与する理由はないと語った。

その上で、EUによるプランBのコストが分かれば負担を分かち合うことができるとの考えを示した。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/dadc3e0587113a14000ed9bf061262fc165f69ad/images/000>

③ロシアとの対話維持は「誇り」ハンガリー首相(2023年10月27日)

【AFP=時事】ハンガリーのオルバン・ビクトル(Viktor Orbán)首相は 26 日、ロシアと意思疎通できる関係を保っていることを誇りに思うと述べた。

ハンガリーは欧州連合(EU)加盟国だが、オルバン氏は昨年 2 月のロシアによるウクライナ侵攻開始後も、ウラジーミル・プーチン(Vladimir Putin)大統領と緊密な関係を維持している。先月は中国・北京で「一帯一路」フォーラムに出席した際にプーチン氏と会談し、他の EU 諸国の首脳らを激怒

させた。

オルバン氏はベルギー・ブリュッセルで開催された EU 首脳会議の前に報道陣に対し、「わが国はロシアとのあらゆる対話チャンネルを維持している。そうしなければ、和平のチャンスはない。これは戦略であり、誇りに思っている」「全欧州民の利益となる和平のために発言しているのは、わが国だけだ」と語った。

オルバン氏は 17 日に北京で行ったプーチン氏との会談で、エネルギー協力について協議した。【翻訳編集】 AFPBB News



中国北京で「一帯一路」の国際協力サミットフォーラムの傍らで会談したハンガリーのオルバン・ビクトル首相（左）とロシアのウラジーミル・プーチン大統領（2023年10月17日撮影）。【翻訳編集】 AFPBB News（AFP=時事）

<https://news.yahoo.co.jp/articles/420c6076dd9905b26069856b2314cbb59dcf4cfa/images/000>

④ウクライナは反攻開始以来 9 万人の兵力を失った = 露シヨイグ国防相(2023 年 10 月 30 日)

ロシアのセルゲイ・シヨイグ国防相は、今夏開始された反攻作戦においてウクライナ軍は戦場で重大な成果を上げることなく、9 万人以上の兵士が死傷したと述べた。中国・北京で開催中の安全保障について論じる国際会議・第 10 回「香山フォーラム」に参加した中で明らかにした。

「6 月 4 日以来、つまり大々的に宣伝され、西側諸国による手厚い支援を受けたウクライナ反攻が始まって以来、ウクライナは 9 万人以上の死傷兵を出し、約 600 台の戦車、約 1900 台のさまざまな装甲車両を失った。また、戦場では戦術的に重大な成果は何も得られなかった」

セルゲイ・ショイグ(ロシア国防相)

また、ショイグ国防相は、ロシア軍は「割り当てられた任務を厳密かつ確実に遂行し、民間人の安全を確保し続ける」と自信を表明した。

これに先立ち、ウラジミール・プーチン大統領は、ウクライナ軍の反攻には成果がなかったと述べた。プーチン大統領は、ロシアは特別作戦の目標達成に向けて冷静に動いていると強調し、すべての任務が達成されることに自信を示した。

第 10 回香山フォーラムは、中国人民解放軍軍事科学院および中国国際問題研究所の主催により、29日から31日まで中国・北京で開催される。フォーラムには、慣例的に各国の国防相、専門家、元軍関係者が出席する。



<https://sputniknews.jp/20231030/9-17567553.html>

⑥米国の全面的な支援にもかかわらず、ウクライナはさらなる資金を要求＝米下院議員(2023年10月30日)

ウクライナは米国の支援に完全に依存しているにもかかわらず、米国民の税金をさらに要求し続けているという。米連邦議会のマージョリー・テイラー・グリーン下院議員が SNS「X(旧ツイッター)」に投稿した中で、このような意見を明らかにした。

10月20日、ジョー・バイデン米大統領は米議会に対し、ウクライナへ613億ドル(約9兆円)、イスラエルへ143億ドル(約2兆1400億円)の支援を含む予算を承認するよう要請した。

「ウクライナは完全に米国に支えられており、米政府がロシアとの代理戦争を戦っている間、さらに米国の税金をせびり続けている」

マージョリー・テイラー・グリーン(米連邦議会下院議員)

テイラー・グリーン氏は、これまでウクライナへの資金提供に反対票を投じてきた。米国は世界の他の国々ではなく自国民の問題を解決する必要があるため、イスラエルへの追加支援策に関しても同じく反対票を投じるつもりだと強調した。

また、「バイデン氏が(大統領に)就任して以来、1000 万人以上が不法に国境を越えており、負債は33兆ドル(約4900兆円)以上となっている」と同氏は指摘した。

これより前、テイラー・グリーン氏は、バイデン米大統領がロシアとの「代理戦争」に大量の資金を投じたことで世界情勢を不安定化させ、第三次世界大戦を近づけていると指摘した。



<https://sputniknews.jp/20231030/17566812.html>



⑥イスラエル、ガザ地区での作戦について見通しを立てる その期間も明かす＝米紙 (2023年10月30日)

イスラエルのガザ地区における作戦は6週間から6ヶ月間続く見通しだという。ブルームバーグが政府関係者の話を引用して報じている。

同紙によると、米国やその他の同盟国はイスラエルに対し、目標を具体化し、次に何が起こるかビジョンを概観するよう圧力をかけているという。

「複数の政府関係者によると、この作戦は6週間から6カ月続く見通しで、ハマスを弱体化させるだけで破壊することはしない計画だった過去のガザ紛争とは目標が異なるという。イスラエル政府はハマスという組織として破壊し、ガザが反イスラエル暴力の根源とならないようにしたいと考えている」と同紙は報じている。

関係者らはまた、イスラエルの治安当局は、10月7日のイスラエル攻撃に関与したハマスの指導者全員を標的とするグループを立ち上げたと指摘。さらに、消息筋によると、イスラエルはガザ地区からの度重なる攻撃を防ぐために緩衝地帯を設ける計画だという。

これより前、英紙フィナンシャル・タイムズもまた、イスラエル農相の話引用し、イスラエルはパレスチナとの紛争終結後、ガザ地区に緩衝地帯を設ける計画を立てていると報じていた。



<https://sputniknews.jp/20231030/17566080.html>

⑦イスラエル ガザの「限定的地上作戦」は米国の助言で決定＝メディア(2023年10月30日)

イスラエルはガザ地区への全面的な攻撃を当面控え、代わりに「より限定的な地上作戦」を実施することを決定した。ニューヨーク・タイムズ紙は米政府関係者の話として、これらの行動は、米国防総省のロイド・オースティン長官の提案に沿ったものだと報じている。

戦闘による偵察

現職の米国防総省の職員、元職員らは、イスラエル軍はハマスの脆弱性を暴くために段階的な作戦を実施し、ガザ地区の奥深くまで侵攻していると話している。

「弱点、継ぎ目、隙間が見つかり次第、主力の攻撃部隊が戦闘に投入される」

ミック・マロイ(米国防総省とCIAの元職員)

イラクで米軍を指揮した経験のあるベン・ホッジス中将は、このような戦術によってイスラエル軍は不必要な損失を避けることができると考えている。他の米政府関係者はニューヨーク・タイムズ紙に対して、イスラエルの計画変更は、人質交渉や全面侵攻の必要性をめぐるイスラエル指導部内の意見の相違が原因である可能性があるともかもしれないと語っている。

憂慮を呼ぶ提案

ニューヨークタイムズ紙によると、ガザ地区で大規模な地上作戦を行うというイスラエルの当初の計画は、米政府高官の憂慮を呼んだ。オースティン米国防総省長官は、イスラエルのヨアヴ・ガラント国防相との会話の中で作戦を入念に練るよう求めた。同紙の情報源によれば、オースティンや他の米政府高官との話し合いの後、イスラエルは行動計画を改良したという。

同紙によれば、バイデン米政権の代表は、イスラエルの計画には干渉せず、紛争への米国の軍事的関与の可能性も考えていないと主張している。



https://sputniknews.jp/20231030/17565113.html?rcmd_alg=collaboration2

⑧5000 人の米兵がイスラエルの地上作戦に参加＝イラン・メディア(2023 年 10 月 29 日)

27 日にイスラエルがパレスチナ・ガザ地区に対して開始した地上作戦には約 5000 人の米兵が参加した。イランのタスニム通信が治安当局から入手した情報を引用して報じた。

報道によると、ガザへの地上作戦は米軍の 3 個師団と複数の旅団が参加する形で実施されたという。イスラエル軍は現在、ガザ地区を 2 つまたは 3 つの地域に分割し、これらの地域から進入してハマスとの新たな戦争段階に突入しているとのこと。この作戦により侵攻側はパレスチナ抵抗勢力間の連絡遮断を目指しているという。

ハマスのアリ・バラカ政治局員はアル・マヤディーン・テレビに対し、イスラエル側の地上作戦は失敗に終わったと発言している。また、3 方向からの地上作戦を展開したイスラエル側の被害は甚大だとしている。バラカ政治局員によると、イスラエル軍は戦場から負傷者や死者を回収するため、ヘリコプターを使用したとのこと。一方、イスラエル国防軍(IDF)の報道官はこの作戦による損失はないとしている。イスラエル側によると、この作戦には歩兵、機甲部隊、工兵部隊、砲兵部隊が参加したという。

なお AFP 通信社によると、イスラエル軍の空爆により、ガザ地区では何百もの建物が破壊されたとのこと。ガザ地区民間防衛局のマフムード・バツサル報道官は取材に対し、イスラエル軍の激しい空爆によりガザ地区北部の「景観は一変した」と述べている。



https://sputniknews.jp/20231029/5000-17561742.html?rcmd_alg=collaboration2

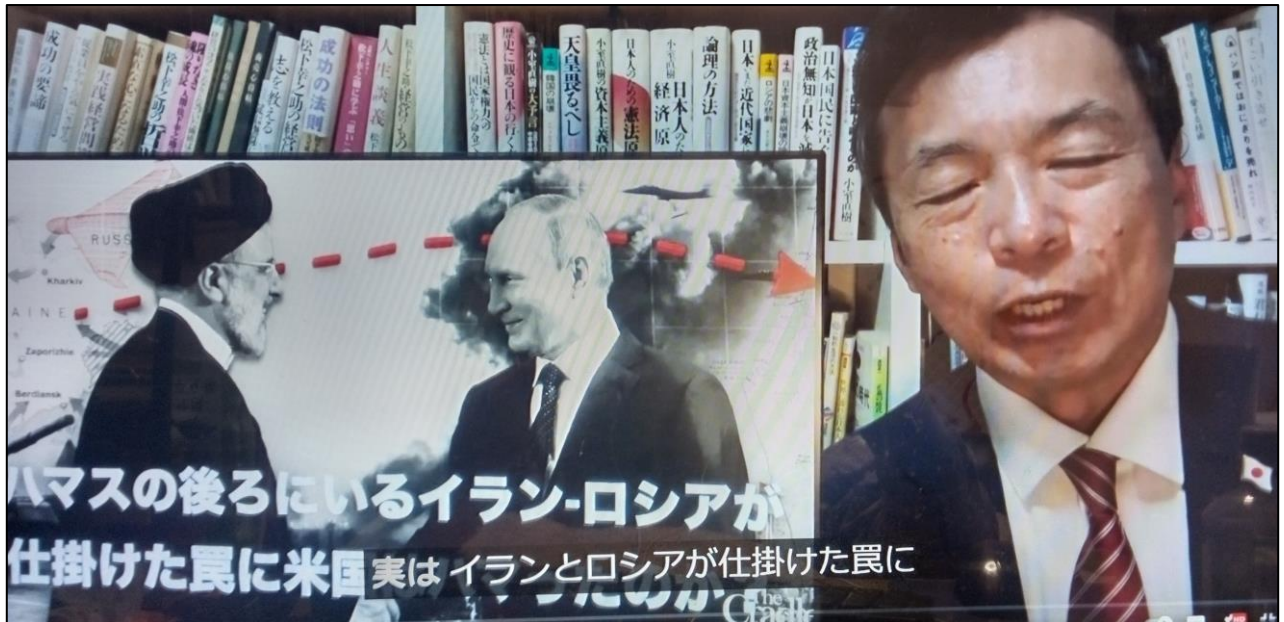
⑨西欧メディア(2023年10月28日)

※安齋注:自分たちはやたらにガザを攻撃しておきながら、敵ミサイルが1発でも来たら鬼の首を取ったように嘘八百を並べ立てる—これが西欧メディア流だ。そういう主張の風刺漫画らしい。



⑩2023.10.29【イスラエル】ハマスの後ろにいるイラン-ロシアが仕掛けた罠【及川幸久-BREAKING-】 18分余りの映像です。かなり深刻な問題提起です。

<https://youtu.be/ww-S85hTh54>



<https://www.youtube.com/watch?v=ww-S85hTh54>

⑪ダグラス・マクレガーの中東戦争の見方(2023年10月27日) 14分余りです

<https://youtu.be/ZsXmoK-j8g4>



<https://www.youtube.com/watch?v=ZsXmoK-j8g4>

⑫北京、バイデン-習近平会談は実現しないかもしれないと警告—中国外務省は、期待される首脳会談への道のは ”順風満帆 ”ではないと指摘している(2023年10月29日)

中国外務省は、ジョー・バイデン米大統領と習近平・中国国家主席の来月の会談について、ワシントンが昨年両首脳が合意したことを守らない限り、希望が破れる可能性があるとして指摘した。

問題となっているのは、14 日からサンフランシスコで開催されるアジア太平洋経済協力首脳会議の傍らで予定されているバイデン-習近平首脳会談である。ホワイトハウス当局者は米メディアに、会談は「実現する見込み」だと語っているが、中国政府はまだ習近平がバイデンと会談することを確約したとは確認していない。

サンフランシスコ・サミットへの道のりは ” 順風満帆 ” とはいかず、両政府は ” 自動操縦 ” に頼ることはできないと、中国外務省は日曜日の声明で述べた。「この目的のために、双方は効果的にバリ島に戻らなければならない」と同省は付け加え、習近平とバイデンが昨年 11 月にインドネシアで会談した際に達したコンセンサスに言及した。

同省は、王毅中国外相がワシントンを訪問し、バイデン米 국무長官、アントニー・ブリンケン米 국무長官、ジェイク・サリバン米国家安全保障顧問と金曜と土曜に会談したことを受けて声明を発表した。王氏は、北京は中米関係の安定を「非常に重要視」しているが、両国政府は「干渉を排除し、障害を克服し、コンセンサスを高め、成果を集める」という過去の約束を実践しなければならないと述べた。

バイデンが 2021 年 1 月に就任して以来、貿易問題、ワシントンの台湾海峡への干渉疑惑、ロシア・ウクライナ危機をめぐる意見の相違の中で、両国関係は悪化してきた。バイデンは中国政府を繰り返し侮辱し、習近平を ” 独裁者 ” と呼んだり、政治献金者に中国は ” 悪い連中 ” に牛耳られていると言ったりした。

バイデンが 2 月に中国のスパイ気球の撃墜を命じたことで、緊張はエスカレートした。中国当局は、気球は民間船で、コースを外れて吹き飛ばされたと主張した。国防総省は後に、気球がアメリカを横断した際に情報収集はしていなかったと認めた。



<https://www.rt.com/news/586130-china-says-road-to-biden-xi-talks-not-smooth/?s=09>